

しんおんせん

# 議会だより



みんな笑顔で 海開き (7.8浜坂県民サンビーチ)

平成25年度一般会計補正予算 条例制定・改正	P2～3
一般質問 9人が質問	P4～12
委員会報告	P13～14
行政視察研修報告	P15～16
採決一覧・請願・意見書	P17
みんなの広場 宇都野神社麒麟獅子舞保存会	P18

しんおんせん議会だよりは、四季折々の色で印刷しており、今回は空と海のブルーです。

# 一般会計補正予算

## 条例制定・改正

平成25年6月定例会

# 一般会計補正予算可決

全員賛成

第60回（平成25年6月）定例会が6月5日に招集され、17日まで13日間の会期で開催しました。町長から条例案4件、事件案5件、平成25年度補正予算案9件、諮問案1件、報告案6件が提出されました。一般質問は6月5日と6日に行われ、9名の議員が町政全般について質問しました。

歳入・歳出それぞれ 4千304万7千円を補正し  
97億8千804万7千円とした。

### 補正予算の主な内容

- ① 4月1日付人事異動によるもの
- ② 中学3年生までの入院・通院費が無料に
- ③ 風しん予防接種の助成金
- ④ 浜坂駅前アーチ看板改修補助金
- ⑤ 地域の特色を生かした食育推進



改修される駅前アーチ

### 条例制定・改正

#### 給与条例

**問** 国家公務員給与を下げたので、地方公務員の給与を下げるというものである。全国の自治体の実施率が51%という中で実施に踏み切った理由は何か。

**答** 交付税が減額され、対応を迫られたものだ。労使交渉を行い、最小限の幅で実施した。

**問** この給与引き下げが民間企業に与える影響が大きい。地域経済をよまさせるだけで逆効果ではないか。

**答** 今回影響額3400万円給与が減る。地域経済への影響は確実にあると思う。

**問** トップとして、職員の仕事の低下をどのように考えているか。町としての独立性、自立性はどう考えるか。

**答** 職員の給与については、数年間下げ続けており、危惧している。士気低下と

ならないように努めたい。本来、公務員の給与は人事院や人事委員会で決められるべきものだ。と認識している。今回は異例中の異例であり、国会が最高の意思決定機関であり、いかんとも難しいところである。理不尽な国の要請であっても、すべて拒否することはできない。

#### 国保条例改正

**問** 昨年も大幅引き上げ、昨年も基金繰り入れをし、今年も7000万円繰り入れしても引き上げとなる。この引き上げ理由は何か。

**答** 医療費の増高と、後期高齢医療保険料の支援金、介護保険分引き上げによる。

**問** 国保引き上げの理由が給付費の増高という答弁は正確でない。国庫負担が年々減らされている。本来、国保の2分の1は国が負担すべきものであるが、現在は27%まで減らされている。国の方でいま国保のあ

# 条例制定・改正

り方が議論されているが方向は判然としない。国の負担次第という思いは同感である。



## 但馬定住自立圏協定について

**問** 委員会で否決された3月と同じものを提案しており、工夫の跡が見られない。その実現性について具体的に説明を。

**答** 可能な範囲で相互協力することを目的としている。

**問** 中心市宣言は、拠点都市整備だけが目的になるのではないか。

**答** 豊岡市とは距離があり、その施設を利用することが目的ではなく、共同で事業を進めることを目的にしている。

**問** 周産期センターを協定に入れないのはなぜか。

**答** 我が町の利用度が極めて低いため、協定は結ばない。建設費の一部を負担し、運営費は負担しない。

**問** 鳥獣被害は広域的対応が必要ではないのか。

**答** 各自治体での対応で、協定には至らないとした。

**問** 広域連携となるが、但馬広域行政事務組合との違いは何か。

**答** 但馬広域は法的にも位置付けられ、具体的課題を広域で処理し、予算も定めて協力して取り組んでいくものである。

**問** すでに別の組織・別の協議によって実施している事業であり、今回の協定を結ばずとも事業は進むのではないか。なぜ協定が必要なのか説明がない。

**答** 広域連携を強化することは大事である。

## 給与に関する特例条例の制定に対する反対討論

谷口 功

国が、地方公務員給与削減を法に反し、一方的に押し付け地方自治に不当に介入している。

震災復興特別交付税で、6,198億円、福島第1原発除染費用を含む地方単独事業に1,200億円がすでに確保されており、いま必要なことは、この予算を具体化する自治体職員の不足を解決することで、これこそ、国が特別の手立てを打つことが求められている。

地方自治体の必要な財源を保障する国の役割を歪め、地方財政を大型公共事業推進という安倍内閣の政策推進の手段として公務員給与削減が利用されている。給与カット、昇給停止は、職員のやる気を奪い、士気の低下に繋がりが、ひいては住民へのサービス低下に結びつくことになる。

## 国保条例改正に対する反対討論

谷口 功

年々国保税が引き上げられるのは、国庫負担減額が最大の理由であり、被保険者の責任ではない。近年、国保加入者の構成が、無職者や派遣・臨時などの不安定労働者の比率が高くなっている。このことが、憲法で規定する全ての国民への「最低生活の保障」さえ危うくされ、さらに国保会計が一層困難となる悪循環を生みだしている。

現在、国保会計には基金があり、この活用で引き上げをくい止める努力をすべきである。

国保条例改正の引き上げ部分については反対するものである。

## 豊岡市と結ぶ定住自立圏協定に対する反対討論

中井次郎

この協定の目的は、総務省がはつきり言っているように、財政が厳しい折から、全国どの自治体も「フル装備」ができないので、中心市に都市機能を整備し、周辺自治体は、それを利用して、最低限度の機能を整備するというものである。

そもそも、この考えこそ平成の合併の考え方そのものである。このような協定を結ぶことは定住でもなく、自立どころかそれを失うことになるかと考える。



問 燃油高騰等に町の支援策をとるべきだ

町長 効果的、実効性のある策がないか検討中である



中村 経逸 議員

漁船の燃油高騰対策

問 全漁連のイカ釣り漁業者が4月26日〜27日の一斉休業に当町も6隻が参加し、高騰も限界と嘆いている。

町長 原油価格の高騰が以前からあり、円安で追い打ちをかけている。

問 燃油高騰等は漁業者にとって危機的状況であると危惧している。5月26日淡路で燃油高騰による政府の支援を求める兵庫県漁連



燃油高騰に町の支援策を

の決起大会が開かれ、5月29日には全国漁業協同組合連合会全国集会所が東京で開かれ、政府に早期の対策を求めている。燃油価格の上昇に加え、消費低迷の魚価の下落も追い打ちをかけて廃業、失業、休業を強いられる。漁業の崩壊を食い止めるといういけないと訴えて

いる。

町長 燃油だけでなく魚価の低迷の二重の打撃を受けていることは承知している。

問 町も支援策、救済策をとるべきだ。

町長 効果的支援策や実効性のある策がないか、燃油の高騰という事象だけをとらえて暫定的にそれを支援するだけでいいのか、あるいはもっとほかに施策と組み合わせる対応すべきか検討している。

国保保険者都道府県移行案

問 政府の社会保障制度改革国民会議で、運営を市町村から都道府県に移す国保の改革案

が示されたが。

町長 聞いている。

問 広島県では32年度までに広域連合が国保運営する案を市町会に提出している。

町長 広域連合の件は聞いていない。

問 保険料を都道府県内の平均保険料にすることも示している。医療提供体制が整わない所得が低い町村部は引き上げる試算となっている。新温泉町は保険料引き上げとなるか。

町長 さらに高くなる認識だ。

問 保険料の平均化は問題がある。今より引き上がるからだ。

町長 激変緩和措置を何らかの形で対応されるべきと考えている。

# 一般質問

問

## 人事評価制度は

### 町長 26年度一般職に導入

**問** 管理職は、業積評価と能力評価を25年度実施しているのか。

**町長** 業績評価はしていない。

**問** 全職員への実施は、26年度実施する予定である。

**町長** 組合との話し合いは行ったのか。

**副町長** 数回行い、了解を得た。

### 行財政改革実施の状況

**問** 物件費の節減と未利用地の売却は。

**町長** 両方とも進んでいない。



小林 一義 議員

**問** 補助金の見直しをすべきだ。

**町長** 前向きに検討する。

**問** 税金のムダづかいを少なくする「行政コスト」計算を実施せよ。

**町長** 検討を行う。

**問** 下水道の資産・財産の評価を行って、法適用を実施すべきだ。

**町長** 前向きに検討をしていく。

### 公営企業会計改革は

**問** 資本制度・会計基準の見直しが大幅な改正になっているが、我が町の対応は。

**町長** 浜坂病院や水道事業を実施する。

**問** 退職引当金やリース会計の導入は。

**事務長** 引当金の義務化やリースも資産として計上する。

### 安心して住みやすい町を

**問** 障がい者を総合的に支援する判定の見直しや、支援の拡大について我が町の対応はどうか。

**町長** 区分・支援の拡大はできる範囲で25年度予算化している。

**問** 外出時の移動援助はどうか。

**町長** 順次行っていく。

**問** 自殺やうつ病・孤ランティアを中心に「認知行動療法」の普及と促進を図って対応すべきだ。

**町長** 常に心がけて対応を行っている。専門職の採用は難しい。

### 地域包括ケアシステムの構築を

**問** 高齢者が住みなれた地域で暮らせるように、生活支援が重要だ。地域ケア協議会を設置してはどうか。

**町長** 趣旨はよく理解できる。必要に応じて対応したい。

**問** 一人暮らしの高齢者への「見守り隊」を結成してはどうか。

**町長** すこやかクラブへの要請は行っている。何らかの支援は考慮したい。

### 介護予防の充実を

**問** 医療費や給付費の抑制を図るため、予防事業が重要だ。「健康ポイント制度」を導入してはどうか。

**町長** 効果があり有効であれば、取り入れも可能である。

### 発達障がい児の対策を

**問** 共に過ごす中で、子どもに思いやりを感じ取ってくれる。保護者向けの講演会を開催すべきだ。

**町長** いまは相談業務のみである。

**問** 大人の発達障害が増えている。全町民への啓発・啓蒙を実施すべきだ。

**町長** 実施に向け何とか努力していく。



人事評価制度の導入は

問 風しん予防接種対策は

町長 追加補正にて提案する



西村 公子 議員

**問** 昨今、風しんについては大きく取りざたされている。患者の7割以上は男性、20代から40代が8割を占めたとのことである。近畿地方での報告が多いと聞く。兵庫県も方針として妊娠希望者を対象とする見込みのようだ。新温泉町も危惧される面が多くあると思う。

んを産んでいただきました。今期定例会で、追加補正で風しんのワクチン接種の提案をした。

**問** 住民への情報提供は町としてどのように考えられたのか。厚生労働省からも情報が出ていると思うが。

**町長** 24年度5月、8月、25年2月に広報で注意を呼びかけた。

**問** 今年度の供給量は限られているのか。

**町長** 助成措置を補正予算で考え、効率的に対応する。

**問** 情報提供と妊婦への早期対応は。

**町長** 町として情報提供はきちっとしている。

**問** 県内市町によって助成額が違うようだ。

財政面もあると思うが、当町はどう考えているか。

**町長** 当町は2,500円を目安としている。

**問** 将来の新温泉町を担っていく子どもたち



風しん予防接種の全額免除を

である。全額免除の考えは。

**町長** 現段階では就学前児童は、負担額ゼロである。助成金として、兵庫県2,500円、新温泉町2,500円、残金を自己負担でお願いしたい。

**問** 新温泉町の予防接種者は現在何人か。

**課長** 町としての助成対象者は876人を予定している。





## 一般質問



中井 次郎 議員

**問** この制度について町民は「大変助かる」と言っている。しかし、事業の対象者は、満75歳以上のみの高齢世帯、または重度心身障がい者と満75歳以上の高齢者で構成する世帯である。

**町長** 趣旨はわかる、検討したい

先日、65歳の町民からお話があり、「79歳の姉と同居している。自分も病気もちであり、姉も関節痛を患い、歩くにも杖が欠かせない。医者に行くのに毎



平成25年7月1日調印式

**問** この制度の対象は、満75歳以上のみの高齢世帯、または重度心身障がい者と満75歳以上の高齢者で構成する世帯である。福祉タクシーを利用しているが、年金暮らしの家計には大きな負担である。福祉タクシーを利用させていただけたらありがたい」と言われた。この制度の対象要件を拡げていくこと

**町長** 言われている趣旨は長く分る。検討したい。

**問** 6月議会に「豊岡市を中心市とする定住自立圏協定締結」が議案として提出されている。

を求める。

**町長** 言われている趣旨は長く分る。検討したい。

そもそも考え方は「圏域全体プランは中心市が作る。そして、圏域の必要な都市機能は中心市に整備し、周辺自治体はそれを利用する。周辺自治体は必要な機能を整備する。このような中で、自治体が相互に連携して、圏域の活性化を図る。そのために必要な権限は中心市に移す。財源はそれなりに保証する。」このようになってる。

これまでの審議で、「対等平等な形で協定は結ばれる」との話があったが、「都市機能は中心市へ」となっており、対等と言えないことは明らかである。

**町長** あくまで対等平等な立場で協定を結びたい。自主性がなくなることはない。

**問** 豊岡市と養父・朝来市、香美町が結んだ協定書と共生ビジョ

ンがある。その中心市機能の状況が書かれている。周産期医療センターのように、これから整備するものもある。現在、稼働している各施設を新温泉町民がどの程度利用されているか。

**町長** 少し誤解がある。協定行為を行った後、共生ビジョンを結ぶ。

但馬空港の利用についてはこれまで400人程度であったが、現在では350人程度である。

**問** この協定は政府の地方への財源の一層の削減が目的ではないか。但馬を将来一つの市にする意図ではないか。形を変えた合併ではないかと思えてならない。

**町長** 但馬を一つにという意図はない。地方の財源削減とは思わな

問 発電用熱源（温泉）の帰属は

町長 余り湯の利用として理解を求めたい



宮脇 諭 議員

但馬定住自立圏協定

**問** 鳥取市との協定はすんなり決まった。だが、豊岡市とは委員会議論が既に1年を経過している。何が困難で今日に至っているか。そもそも定住自立圏協定の目的は何か。

**町長** 鳥取圏域とは歴史的に多分野の繋がりが強いが、豊岡圏域とは希薄。また、但馬空港等困難な問題もある。目的は、現在連携している事業の協働である。

**問** ドクターカー以外の医療体制では朝来市以外の連携はない。何

故か。

**町長** 豊岡病院は、豊岡と朝来の組合立。病院間の連携はしても、自治体同士の協定行為はしない。

**問** 周産期医療についても、協定しないのは新温泉町だけ。地理的条件があるにしても、来年11月完成のセンター建設負担を負うこととなっているが。

**町長** オール但馬の一人としての役割負担であり、それ以上ではない。

**問** 鳥獣被害の連携も見送っているが、必要ないか。

**町長** 被害形態が異なるのでしない。必要なら変更手続きを踏みたい。

**問** 我が町にとって、義務的利用しかない但馬空港。協定項目とする理由は。

**町長** 空港建設等過去の経過がある。辛いが

役割を果たさなければならぬ。

湯村の河川環境

**問** 観光地湯村を流れる春来川は、温泉情緒を醸し出す重要な観光資源。地元民によるポランテア清掃作業だけでは及ばない部分もある。特に「すこやか」から「三好屋」にかけての間は手つかずの状態。行政の手を差し入れるべきではないか。

**町長** 観光資源という認識に異論はない。河川管理者である県と調整のうえ、要請をした。

バイナリー発電事業

**問** 再生可能エネルギーの中でも町の特質を生かした事業。しかし、投資額8000万円に対するメリット

は、使用湯量の割に年間70万円と期待に及ばない。指定管理を予定しているようだが、財産区との調整協議の進捗は。

**総合支所長** まだ具体的な調整合意に至っていない。熱源である温泉の所有権等帰属問題もあり、指定管理を前提にすれば、将来の維持修繕費も含めた協

**企画課長** 概算で発電機が4千万円、蓄電システム、配管その他が残り4千万円。メーカーにより仕様が異なる。中身は不明である。

議調整が中心課題である。

**問** 将来の維持修繕を見据えたとき、個々の設備の単価内訳はどうなっているのか。

は、使用湯量の割に年間70万円と期待に及ばない。指定管理を予定しているようだが、財産区との調整協議の進捗は。



余り湯を活用した温泉バイナリーの進捗は



問

# 水産業の危機を救え

## 町長 国の結論をみて9月対応かと思う



宮本泰男 議員

**問** 浜坂町漁協の漁業情勢は、1997年には35億円あった水揚げ高が、昨年度は24億円と30%も減少している。漁業者の経営内容は、直近5年間沖合底引き漁業経営体17隻は現状維持と不変。しかし、沿岸漁業経営体数は、38隻が29隻と9隻も減少している。漁業者も昨年から5人減少している。町長の認識は。

**町長** 現状は認識している。

## 全国漁民決起集会で支援の訴え

**問** 全国の漁業者は漁業用燃油高騰による経営不振に陥っている現状にあり、全国漁民決



水産業の危機を救え（浜坂漁港）

起集会を東京都内で開催し、国に対して支援救済を要求した。本町漁業者も多数参加し、世論に強く訴えている。

浜坂漁協から要望のある燃油高騰対策直接支援、セーフティーネット事業加入助成に対する本年度の予算措置を伺う。

**町長** 国も一定の結論を出す方向、局面に至っていると思う。その点見極めて、9月対応になるかと思う。

**問** 但馬市町連携し、県・国へ要望する具体的内容は。

**町長** 県知事、課長出席の要望会がある。燃油の高騰について強く要望したい。国の流れを見ながら、県も対応すると思う。

**問** 漁業者の支援救済に臨時議会を開いてでも補正すべきである。漁業の根本的問題、構造的問題（魚価上昇対策、販路開拓、経営収支改善）解決のための中長期的計画の策定を要求する。

**町長** 燃油対策、高騰対策は国・県の動向を見極めて、随伴補填は難しいことではないと思が、ほかに手立てはないかと掘り下げて検討している。

## 介護保険事業

**問** 現在の要支援者、要介護者の認定数は1,012人、介護施設の収容規模、内容、利用状況を伺う。

**町長** 特別養護老人ホーム3か所の定員は、合計200人、介護老人保健施設（ささゆり）は、定員80人。4施設とも、空きが無い状況である。

## 地域包括支援センター

**問** 地域包括支援センターの介護予防ケアシステム構築、地域支援事業の充実を期待する。

**町長** 介護予防に地域（すこやかクラブ、自治会、民生委員等）の協力を得て事業展開し、高齢者の方々に健康で長寿を全うしていただきたい。

問 人口減少の歯止め施策は

町長 若者の意向を大切に、雇用拡大



西脇 明 議員

**問** 働く場所がないから人口が減るのか、人口が減るので若者が定住しないのか、町に魅力がないので人口が減るのか。産業の振興と雇用の拡大について、以前も質問した。その際、多くの従業員を抱える企業に対し、訪問活動の展開を提案したが、その後どうなったか。

**町長** 働く場所がないから若者が定着しないのか、なかなか困難性のある問題である。この町で生活したい若者の意向、気持ちを大切にしたい。その観点からサンシーホールに新しい館長を迎え、企業訪問を展開している。町としても、金融関係の方、商工会の理事、住宅関係の方々などいろいろな会議で、意見交換をしている段階である。

**問** 先般、商工会の資料によると、会員加入率約50%で、昨年の加入が14社、脱退24社と減少傾向にある。町はあらゆる統計を取っており、それらを生かした各課連携を強化し、町づくりをすべきである。以前に「人口減少に対応したプロジェクト」を提案し、検討すると言っていたが、その後どうなったか。

**町長** プロジェクトの必要性は感じているが、未着手である。産業振興等での統計の生かし方は、そのとおり

である。現状認識の上で課題がたくさんあり、たくさんさんのプロジェクトを組んで対応しているところである。

**問** 人口減少と関係の深い結婚相談員の設置

については、どのように取り組んでいるか。

**町長** 行政が直接「結婚相談員の設置」に取り組むのではなく、社会福祉協議会にお願いしたいと思っている。



北但ごみ処理施設建設に向け進む進入道路・敷地造成工事

**問** 平成28年4月稼働予定の竹野でのごみ処理に向けて、昨年10月「一般廃棄物処理基本計画」が示されたが、内容を点検すれば、我が町のごみ減量化の政策が生かされていない。とりわけ我が町は、直接搬入の比率が高い。また運搬が遠方になるため、ストックヤードの検討が必要と考えるが、いかにするか。

**町長** 基本計画の計数は、推計値で計算しており、あくまでごみの発生量を抑制し、資源化、減量化に努める方針である。ストックヤードについては検討すべき課題であると思っており、少し時間をいただきたい。

北但ごみ処理施設は

## 一般質問

問

### 情報基盤を問う

#### 町長 旧町の情報一本化はまだ時間がかかる

**問** 温泉地区ではテレビ、村のお知らせ、緊急情報など、大半をケーブルテレビで行っている。浜坂地区は、大半をケイ・オプティコムの光ファイバー、村の共聴方式、行政情報は各家庭に設置されたスピーカーなどで行われている。合併して8年目になっているが、情報提供の方式を早く統一すべきではないか。

**町長** 温泉地区のケーブルテレビは、現在借



西村 銀三 議員

#### ケーブルテレビの実態は

金を国に返している途中であり、返済後の対応を考えたい。また、平成28年に消防無線のデジタル化が検討されており、防災・行政情報の速やかな伝達をできるようにしたい。

**問** 24年度の温泉地区ケーブルテレビ使用料は年間で約5,300万円、支出は約1億2,000万円で、約6,700万円が町の持ち出しとなっている。視聴率など現状の利用状況を問う。

**町長** 町独自の調査ではないが、県の調査によると、自主放送を毎日見ている人が約10%、週2回〜3回が

約37%、週1回が40%、全く見ていないのが約12%とついている。

#### NHK受診料不払い運動を！

**問** ラジオは緊急防災情報提供の要である。いまだにラジオがきれいに入るように整備されないが、公共放送の役割を忘れたNHKに、受診料の不払い運動をやるべきだ。

**町長** 福富の山村広場にラジオ中継局を予定していたが、東日本大震災があり、津波が予想される場所での設置は難しいということになった。その後、地震ハザードマップを作成しなさいとNHKに言われた。地震ハザードマップ作成には膨大な資料が必要で、到底我が町の力で作れるものではなく暗礁に乗り上げてしまっている。

#### 町広報の配布見直し

**問** 町広報は6,000部、月2回配布されている。これ以外に多くのチラシなどが入っている。何割が読んでいるか、配布漏れはないか。また、区長、町内会長に、年間で総額で約1,500万円支払われている。配布回数

数を減らし、報償費を削減すべきだ。

**町長** 月2回は必要だ。不必要なチラシは見直したいが、少しでも多くの情報提供をしたいと思っている。区長、町内会長さんには地域の色々なお世話、パイプ役をしていただいております、必ずしも世帯数割ではない。



緊急防災情報の要であるラジオの難聴解消を



問 アベノミクスで町民の暮らしは楽になるか

町長 生活に響く値上げが非常に顕著になっている



谷口 功 議員

燃油高騰対策は緊急かつ漁業者の死活問題

問 安倍政権から5カ月、株高、円安で大企業はぼろ儲けだが、町民の暮らしはどうなっているのか。

町長 燃油や食料品等、直接我が町の産業や住民の生活に響く値上げが非常に顕著になっている。1次産業を取り巻く環境は、アベノミクスに伴う円安誘導の中、負の面が非常に顕著にあらわれていると認識している。

問 アベノミクスの3本の矢は、国民にとって毒矢であり、まだ2本隠されている。消費

増税と社会保障切り下げの毒矢だ。この厳しい経済状況の中に、我が町の第1次産業も置かれており、自然環境保存や流通の困難から市場論理では成り立たない産業の特性がある。だからこそ、行政の支援が必要である。

日本共産党の山下よしき参議院議員が予算委員会会で燃油問題を追及。緊急性と農・漁業者の死活問題だと主張した。我が町も緊急対策と、中長期的、かつ抜本的対応が必要ではないか。

町長 国の対応を見ながら町として、上昇分の補填にとどまらず、漁業・畜産業等により実効性の高い対応を考えた。

高すぎる国保税を引き下げよ

問 国保税一人当た

り、一世帯当たりいくらかで、どれだけ上がるか。

町長 基金を7千万円繰り入れし、昨年より851円上がり、世帯当たり15万3千502円、1人当たりでは2千717円の増で、9万5千039円である。

問 アベノミクスで生活必需品の値上がり、医療費の窓口負担も値上がり、年金は連続引き下げで生活が苦しいのに、来年は消費税8%への引き上げ、社会保障切り下げが予定されている。せめて、国保税の引き上げはやめ、引き下げるべきだ。

町長 町としては、国保制度を維持していくためにやむを得ない措置だと考えている。

問 国保で所得が大幅に減った時など、申請減免制度が使えるが、規則が実効性のないも

のになっている。改善を求める。

町長 見直すべきものは検討して見直しを進める。

ごみ資源化の徹底を

問 ごみ処理の基本は、環境を守り資源を循環活用するため、ごみを焼却処理でなく、分別を徹底し、資

源化をすすめることである。そのために、生ごみの資源化と事業所系ごみの分別・資源化の徹底が課題だが、どのように具体化するのか。

町長 家庭ごみの分別は成果が出始めている、事業所系は今年度検討委員会を設置し、取り組む。



ごみの資源化の徹底を

# 総務教育常任委員会

平成25年6月12日開会  
平成25年6月14日開会



山陰海岸ジオパーク館で展示物を清掃する生徒たち

## 子ども教育課

- 問** 道路拡幅工事（浜坂北小学校地内）の進捗状況は。
- 答** プール開始に支障がないようにする。プール目隠しフェンス、更衣室は改修済みである。
- 問** 照来小学校グラウンド復旧工事の進捗状況は。
- 答** 法面排水路等が残っている。
- 問** 認定子ども園の老朽化対策は。

## 生涯教育課

- 答** 総合的、年次的に改修を進める。
- 問** トライ・やる受入事業所の絵手紙、登山家の内容は。
- 答** 本来は事業所での研修であるが、今年度から文化活動も可能となった。
- ※子どもの読書活動推進計画の報告。
- 問** わんぱく相撲美方場所は中止するのか。
- 答** この件でテレビ放映されたが、一方的内容であり、抗議を申込む。相撲大会として、相撲連盟が主体で今秋開催予定である。

## 税務課

- 平成24年度町税等徴収実績について
- 問** 不納欠損はどの時期に確定したか。
- 答** 25年3月確定。7年分で約4千700万円。

## 企画課

- 豊岡市との但馬定住自立圏の形成に関する協定の締結について
- 問** 協定の全体像が不明瞭な中で協定を締結するのか。
- 答** 協定は基本部分からビジョンの策定となる。町の利益となるもののみ連携を進めていく。対等な立場で協定を結ぶ。

## 総務課

行財政改革実施状況の報告

# 産業建設常任委員会

平成25年6月10日開会

## 牧場公園課

- 問** 夏場のリフト利用状況は。
- 答** 利用者が少ない。
- 問** ゲレンデの管理はどのなのか。
- 答** 愛宕山観光が管理する。
- 問** ふるさと再発見事業は単年度事業か。
- 答** 次年度も継続したい。

## 農林水産課

- 問** 25年度農地・水保全管理交付金の交付はいつか。
- 答** 8月末、支払予定である。
- 問** 松枯れが特に目立つが対策は。
- 答** 地上・空中から特別防除している。
- 問** 地滑り対策事業の工事区域内で農業用水に不足をきたしている。
- 答** 県の方で検討中である。
- 問** 鳥獣害防除施設申請の現状はどうか。
- 答** 4集落あり、予算は未確定であり、県と調整中である。※ピーチクリーナーの買い入れについては、質疑がかわされ可否同数で委員長採決で可とした。

# 委員会報告

## 要望決議

### 建設課



夏本番を迎えた  
浜坂県民サンビーチ

**問** 24年度2月補正の緊急経済対策で多くの事業が繰越しになっている。修繕にも設計や測量が必要なのか。  
**答** 補助事業のため必要である。

※除雪ドーザー(3トン・8トン級)2台買い入れについて了承する。

### 商工観光課

**問** 湯村温泉バイナリー発電事業の所管はいつ変わったのか。  
**答** 25年度企画課より移管した。

**問** 運営後のメンテナンスがかからないように。  
**答** 湯財産区と協議調整を図りながら事業を進めたい。

※駅前アーチ看板を観光協会へ100%補助し、改修する。

## 環境福祉常任委員会

平成25年6月11日開会

### 町民課

新温泉町住民票の写し等本人通知制度実施要綱の制定について

**問** 制定の目的は。  
**答** 不正請求の抑止と個人の権利侵害の防止を図るためである。

### 健康福祉課

福祉医療費助成条例の一部改正について

※中学校3年生までの入院・通院を無料化。  
軽・中度難聴児補聴器購入等助成について  
※身体障がい者手帳の交付対象とならない難聴児に対し、購入費の一部を助成する。

### 上下水道課

二日市配水池移設計画について

いまのところから

移転し、工事中の二日市古市線の七釜の山に新設する予定である。

**問** 美西浄化センターは、撤去することなく活用できないのか。  
**答** 地元と協議の結果撤去することとしている。

### 公立浜坂病院

7月1日より小児科の診察を増やし、月・水・金の週3回の診察日とする予定である。



7月1日から小児科外来診察を週3回へ

### 要望決議

新温泉町におけるラジオ受信感度向上並びにワンセグ2に関する要望決議(抜粋)

#### 内容

私たちの町、新温泉町ではNHKラジオはじめ民間ラジオ放送は雑音が多く、聞き取ることが極めて困難な状況にある。約10年前、多くの町民から要望で、町当局がNHK神戸放送局に働きかけ、詳しい実態調査が行われた。その結果、他地区に比べ電波の状況が格段に悪いことが確認され、改善が必要との結論が出されている。

その後、難聴解消に向けNHK神戸放送局によって、ラジオ中継局の最適設置場所などの調査・検討がされたものの、結論が出ないまま今日に至っている。

防災情報などの情報提供は、NHKの最も重要な仕事である。公共放送の立場を再認識され、ラジオ受信感度改善に向けた主体的かつ積極的取り組みを早急に実施されることを強く要望する。

同時に、電波過疎からの脱却をめざし、都会と同じようにワンセグ2が視聴できるように早期の整備を強く要望する。

要望決議は全会一致で可決し、NHK神戸放送局長へ送付した。



全議員行政視察研修報告

6月19日から21日に  
かけて危機管理や環境  
問題を中心に、東北2  
県（岩手県石巻市・山  
元町、岩手県葛巻町）  
を視察した。

石巻市

「石巻震災学びの  
ガイド」



石巻市は、旧北上川  
の河口に位置し、宮城  
県東部地域を代表する  
風光明媚な都市。  
金華山沖漁場を背景  
に漁業の町として栄  
え、昭和39年に新産業  
都市として指定され工

業都市としても発展を  
遂げている。

人口15万1千人、世  
帯数59,179戸、  
面積555.78km<sup>2</sup>  
石巻市の被害は、死  
者3,510人、行方  
不明450人、津波に  
より平野部の約30%、  
中心市街地を含む沿岸  
域の約73km<sup>2</sup>が浸水、被  
災住家は全住家数の約  
7割。53,742戸  
のうち約4割の22,  
357棟が全壊となつ  
た。最大避難者数は約  
5万人に及んだとい  
う。

石巻観光ボランティア  
協会会長・斎藤さん  
（元市議）が市内の被  
災地をバスで案内と解  
説をしていた。だいた  
被災当時、立ってい  
られず、地面にはいつ  
くばっていたほどの激  
しい揺れ、直感的に非  
難所に行くよう近所に  
声を掛けて回った。翌  
日、少し水が引き胸ま

でつかりながら自宅に  
帰り、2階で生活を始  
めた。「食料、水も大事  
だが、何より情報が入  
らないことが一番不安  
であった」と語られた。  
街があつた場所は、  
現在は、一面雑草で覆  
われ、コンクリートの  
基礎だけが残ってい  
た。まるで戦後の焼け  
野原の跡といった景色  
が延々と続いていた。  
瓦礫はきれいに片付け  
られ、一部はまだ集積  
場に積まれていた。  
水産加工団地の復興  
も、大手企業のみが再  
開し、3〜4割程度と  
説明された。

地震の強さもさるこ  
とながら、津波被害の  
大きさは想像を絶する  
ものがあつた。  
震災から2年3ヶ月  
が経過していたが、復  
興はまだこれから、特  
に市民の生活再建が最  
も遅れているという印  
象が極めて強かつた。

震災から2年3ヶ月  
が経過していたが、復  
興はまだこれから、特  
に市民の生活再建が最  
も遅れているという印  
象が極めて強かつた。

山元町

「大災害を受けた非常  
時に、議会がいかに  
役割を果たすのか」

山元町の平成22年3  
月末現在の人口16,  
892人、世帯数5,  
604戸、64.48km<sup>2</sup>  
宮城県有数のイチゴ生  
産の町で年間約18億円  
の売り上げを誇る。

震災被害は、死者  
633人、行方不明者  
1人、重症者9人、軽  
傷者、81人。

浸水被害面積24km<sup>2</sup>  
総面積64.48km<sup>2</sup>  
37.2%、全壊家屋  
2217棟、（内流出  
1013棟）、大規模  
半壊534棟、半壊  
551棟、一部損壊1,  
138棟という甚大な  
被害を受けている。  
3月会期中に震災被



山元町仮庁舎での研修

害を受け、議会は開催不能と判断し閉会。議員全員の安否確認ができたのが3日後。役場は使用不能となった。

議員は、毎日午前9時30分に対策本部前に集合し、情報収集に努めた。議会事務局職員も災害対応に割り当てられ、議会事務局の機能を失った（6月末まで）。

3月16日から、全員協議会を開催し、被害状況、災害対策、激甚災害、災害救助法、福島原発被害、県・国への要望等を協議。

5月9日、災害復旧・復興対策のために、災害対策調査特別委員会（議長を除く全員）設置のための臨時議会を開催。

5月16日第2回臨時会で、国への要望の決議。

震災直後の議会が、事務局機能も失い、議

員の安否確認さえ3日を要すことは、被害が深刻で極めて甚大であることを物語るに余りある。

山元町議会がまとめられた議会としての4つの「課題」は、いずれもこの議会でも生ずる恐れのある問題である。①町民から議会の活動が見えないとの指摘、②議会として、町の災害対応状況が把握できない、③事務局職員が災害対応に回され議会が機能しない、④議会として災害時活動状況の明確化が必要（例：議会災害対策本部設置要綱等を制定）

そのとき、議会として何ができるか、何をなすべきか、全国の地方議会共通の課題であり、町災害対策本部に議会も加わることなど、研究する必要がある。

## 葛巻町

### 「北緯40度ミルクとワインとクリーンエネルギーのまち」

葛巻町は、世帯数2,880世帯、人口7,120人（平成25年4月1日住基）で、基幹産業は酪農と林業の町。酪農は明治25年ホルスタイン導入、120年の歴史がある。乳牛1万頭、肥育1千頭、牛乳生産はおよそ4万トン／年。

第3セクターによる地域おこしもすぐれた取り組みがある。

「地域の資源を宝に変えて幸せを実感できる高原文化の町」として発展をはかっている。

町内の電力使用量が年間3,000万kw時、新エネルギーによる発電量が約5万6千kw時で、電力自給率が約1

85%に達している。風力発電・総出力22,200kw、太陽光発電90kw、地中熱ヒートポンプ10.5kw、その他集落コミュニティセンター25か所にも太陽光発電と蓄電池を設置。

さらに2008年2月、バイオマスタウン構想を策定し①家畜糞尿の活用、②事業所系食品廃棄物の利活用、③木質バイオマスの利活用、④家畜排せつ物・木質バイオマス複

合化施設、⑤木炭の土壌改良材・水質浄化剤などを販売、⑥町産材の利用促進、利用促進補助金、エコモデル住宅等々、クリーンエネルギー活用フルコースである。

困難な条件の小さな町が、自立して生きる一つのモデルがここにある。

福島原発の事故により、その値打ちはさらに輝いていくのではないか。



くずまき高原牧場バイオガスプラント

# 採決一覧

## 請願・意見書

### 議会日誌

定例会町長提案 25 件中主な議案別採決一覧表 (第 60 回定例会 [ H 25.6 ])

議員名 議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	賛成	反対	採決
	西村銀三	植田光隆	丸山諄二	小林一義	西脇明	中村経逸	岡坂峰雄	中井勝	谷田一富	宮本泰男	谷口功	中井次郎	西村敏弘	宮脇諭	西村公子	小林俊之			
新温泉町国民健康保険税条例の一部改正について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	-	12	3	可決
豊岡市と新温泉町との定住自立圏の形成に関する協定の締結について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	-	12	3	可決
動産の買入れについて(ビーチクリーナー)	×	×	○	×	○	○	○	欠	○	×	×	×	○	○	○	-	8	7	可否同数により議長裁決
新温泉町職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について	×	○	×	欠	×	○	○	欠	○	○	×	×	○	○	○	-	8	5	可決

○は賛成、×は反対、-は議長職のため採決に加わらない。(全員賛成議案は省略)

#### 請願書

● 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願 (採択)

● がん対策・支援に関する請願 (継続審査)

#### 意見書

● 新温泉町におけるラジオ受信感度向上並びにフンセグ2に関する意見書

● 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

意見書は全会一致で可決し、国会・政府関係機関へ提出した。

#### 選任同意

● 監査委員

福田 正氏  
(任期 H 25.5.14 ~ H 29.5.13)



● 兵庫県町議会議長会  
自治功労者表彰

● 町議会議長  
4年以上在職

小林俊之 議長

● 町議会議員  
15年以上在職

中井次郎 議員  
西村銀三 議員  
中井 勝 議員

#### 議会日誌

(4月)

11日 議会広報調査特別委員会  
18日 議会広報調査特別委員会

(5月)

8日 総務教育常任委員会  
9日 環境福祉常任委員会  
9日 議会運営委員会

14日

第59回新温泉町議会臨時会  
全員協議会

28日

美方郡広域事務組合議会臨時会  
北但行政事務組合議会臨時会  
時会《香美町》

30日

議会運営委員会  
31日 兵庫県町議会議長会第64回定期総会《神戸市》

(6月)

5日 第60回定例会(1日目)  
6日 第60回定例会(2日目)  
10日 産業建設常任委員会  
11日 環境福祉常任委員会  
12日 総務教育常任委員会

14日

第60回定例会(3日目)  
17日 第60回定例会(4日目)  
19日 ~ 21日 議員視察研修  
《宮城県・岩手県》

27日

美方郡広域事務組合議会臨時会  
28日 但馬広域行政事務組合決算審査《豊岡市》





挿し絵・木本博明氏

## 郷土が誇る獅子舞を伝承

### 宇都野神社麒麟獅子舞保存会

会長 奥田博

県重要無形民俗文化財に指定されている麒麟獅子舞保存会は、宇都野神社に古くより伝承し、獅子舞を永く後世に伝えるため、地域ぐるみで協力して、保存することを目的として結成されました。

現在、会員には一、二〇〇世帯が入っています。これほど多くの人が、保存会の会員になっている町はめずらしいと思います。その意味で保存会の運営は責任が重なり、大変光栄であり、感謝しています。また、活動の大きな励みになります。実際に獅子舞を舞う獅子連中は二人の頭取を中心として、20代から50代の34人のメンバーで構成されています。主な活動としては、7月の川下祭りや10月8日の秋



麒麟獅子マラソン前夜祭（平成25年5月25日）

祭りに町内各戸の家の安全を祈願して舞います。また、他地区でイベントの要請に応じ出演しています。昨年は、麒麟獅子マラソン前夜祭と当日、特養はまさかの里夏祭り、浜高麒麟獅子舞サークルといきいき納涼夜市に参加、北近畿和山八鹿道路路フェスティバル、成人式に出演しました。さらに、祭り前には、小・中・高の生徒に練習に参加いただき後継者育成にも取り組んでいます。

ていきたいと思っています。今後とも皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

毎週1回、浜坂高等学校麒麟獅子舞サークルへの指導も行っています。これからは先人が伝承してきた郷土が誇る獅子舞を後世に残すため、保存会一同努力してまいります。

## あとがき

気象庁は7月8日、東海から九州地方までが梅雨明けしたとみられると発表しました。むしむしとした梅雨が明け、夏本番となりました。町内の海水浴場に多くの人が訪れ、にぎわってほしいものです。

今回も町民の皆様には、読みやすい広報になるよう努め、6月議会の一般質問を中心に、一般会計補正予算など編集しています。

これからも厳しい暑さが続きますが、健康には十分ご留意されまことをご祈念申し上げます。

**次回定例会は9月です。  
傍聴して下さい。**

議会広報調査特別委員会	
委員長	中村 經逸
副委員長	西村 公子
委員	植田 光隆
	小林 一義
	宮本 泰男
	谷口 功

発行者 議長 小林俊之